

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第8号
2020.5.26
文責：小松正義

敬馬の生徒会総会

～小学校の財産～

22日（金）生徒会総会が行われました。今年の生徒会で何をを目指すのか、どんな取り組みを行うのか、自治の力を育むための重要な会議です。とはいえ、例年とちがうので、議案書に対する学級討議もできず、1年生は何の準備もせずに参加しました。3年生のやる気、責任感などを学ぶだけの場になるのではないかと感じていました。

総会の中では、自分の意思を表明する場面がありました。本校の「4つの自慢」の何に一番力を注ぎたいか？という質問でした。この話し合いの中での驚きを紹介します。



1. 1年生リーダーの自覚

1番多かったのが、4つの自慢の一つ「あいさつ」に力を入れると表明した人です。表明した人に、「なぜ、あいさつを選んだか？」と発表が求められました。20名近くの方が挙手をし、発表の意思を示してくれました。先輩方にひけをとらない人数にびっくりしました。さらに、一番前に並んでいる学級委員4名が、すべて挙手をしているのです。このやる気と責任感に感動しました。

2. たった一人でも決意表明



「歌声」「ボランティア」を選んだ人は、どちらも学年でたった1人だけでした。どうするのか後ろで見えていましたが、「歌声」を選んだ遠藤冬生くん（2組）、「ボランティア」を選んだ中村俊介くん（1組）は、しっかり手を上げ、自分の意見を全校生の前で堂々と述べてくれました。「清掃」を選んだ人は、5～6名でしたが、なかなか挙手できない状況を見てか、鈴木大虎くん（1組）が、ずっと手を上げ意見表明してくれました。少数でも臆せず、自分の意見を述べられる力に驚きを感じました。

3. しっかりした発言



4つの自慢を今以上のものにするには、どのような気持ちを持つ事が大切だと思いますか？という2つめの意見表明を求められました。佐藤澄怜さん（2組）は、「自分からやるという積極性が大事だと思います。これは基本的な事だとは思いますが。」渡部奏さん（1組）は、「最後まで、積極的に、丁寧にやり遂げることだと思います。」と表明していました。なんとなく発言するのではなく、一歩深く考えての発言にびっくりです。

4. 本人たちにとっては当たり前

1年生のこれらの動きや発言に感動して、担任はそれぞれ終わりの会で評価し褒めていました。ところが、生徒の反応は「何でそんな事を褒めているの？」と言わんばかりに、きょとん顔だったそうです。3年生も総会の中で、「当たり前のことが、当たり前前にできていない人が多いと思う。だから当たり前前にできるようにするだけでも学校の自慢にできる。」というような発言をしていました。その通りだと思います。本人たちにとっては当たり前かもしれませんが、とても素晴らしい力をつけているということです。昨年それぞれの小学校を引っ張ってきた6年生にとっては、当たり前の事になっていたのですね。4つの小学校全てで、このような力をつけてきた事に、びっくりさせられました。小学校で、とても良い経験を積みさせてもらった事に感謝し、1年生の力として、これからの生活でさらに伸ばして欲しいと思いました。



連絡

1. 提出等にご協力ください。

部活動入部申込書 27日（水）まで

緑の羽根募金 29日（金）まで

（ボランティア委員会の活動です。）

2. 衣替えの準備 お願いします。

現在、衣替えへの移行期間として、夏服でも、冬服でもどちらを着用しても良いことになっています。6月1日（月）からは、原則夏服登校になります。ソックスの丈など細かな約束もありますので、確認の上、ご協力ください。

寒い場合は、6月に入っても2週間は移行期間になっています。

3. 明日は知能・NRT検査です。

小学校までの内容で、どの程度定着しているかを図るテストです。今ある力を測定する検査ですので、中学校の成績に反映されるものではありません。結果を見ながら、今後の指導に役立てたいと思っています。

